



暑中お見舞い申し上げます

今夏は、記録的に早い梅雨明けと、連日の猛暑日からスタートしました。8月、9月も体温越えで危険な暑さが続きそうです。熱中症が怖いですね。熱中症とは、体温調節がうまくできなくなり体温が高くなりすぎてしまう症状です。効率よく体温を下げるには、首元を冷やすことです。首元には血液を循環させる頸動脈と頸静脈という2つの太い血管があります。さらに脈が計れるほど皮膚が薄いので血管を冷やししやすい場所です。ここを冷やすことで、冷えた血液が身体をめぐる涼しく感じることができます。また、のどが渇く前にこまめに水分補給をする等、予防することで熱中症にかからないようにしたいものです。

夏季休業：8月11日（木）～8月15日（月）とさせていただきます。 中村事務所 職員一同

監理技術者等が兼任可能な条件の方向性について検討会が行われました

監理技術者等の専任制度に関する見直し方針として、現行制度では請負金額3,500万円以上（建築一式工事は7,000万円）の現場技術者は原則専任となっていますが、この専任不要上限額を4,000万円以上（建築一式工事は8,000万円）に引き上げ、更に4,000万円以上から1億円未満（建築一式工事は8,000万円から2億円）については、多様な建設工事においてICTの活用による施工管理の効率化を可能とするため、一定規模以下の工事に関して、兼任可能な制度を新設することにより監理技術者等が現場の技術者としての役割（適正施工の確保）を達成できるよう、監理技術者が兼任可能な条件の方向性が5月31日に下記のとおり公表されております。

工事現場について

- ・工事請負金額がいずれも1億円未満（建築一式工事は2億円未満）の2現場を兼務すること。
- ・監理技術者等と各現場との間に、現場の状況確認と意思疎通に必要なリアルタイムの音声・映像の送受信が可能な環境（スマートフォン・Web会議システム等で可）が整備されていること。
- ・各現場が一日に巡回可能な範囲（現場間を2時間程度で移動できる距離）に存在すること。

施工体制について

- ・連絡要員（1年以上の実務経験を有する者）を配置すること。（専門工事業の場合は、各下請業者への連絡体制の確保により代替可能。）
- ・当該建設業者からの下請次数が3次以内であること。
- ・日々の施工体制がCCUS等※により遠隔から把握可能であること。

※技術者情報の真正性を確保する観点からCCUS又はCCUSとAPI連携したシステムであることが望ましい。

運用について

- ・兼任にあたっては、技術者の労働時間が過大とならないよう十分に留意※しつつ、施工管理の手段及び人員の配置に関する計画書を作成・保存する。

※兼務する工事の規模や難易度、類似性等を勘案し、兼任した場合の業務量等を十分検討（中山・山中・森）

知っちょい得

改正によりこれまで時効に関してこれまで無かった協議を行う旨の合意による完成猶予の制度が出来ました。改正前は当事者間で合意しても時効の進行を一時的に停止させることができず、支払いに関する協議をしていても時効の完成が近づいた場合には民事訴訟を提起する等しなければならぬという不都合がありました。同制度が出来たことにより当事者間で権利についての協議を行う旨の合意を書面で行えば最大で合意から1年消滅時効の完成を遅らせることができるようになりました。再度の猶予の合意をすることも出来ませんが、時効の完成が猶予されなかったとすれば時効が完成すべき時から5年を超えることが出来ないとされています（続く）。弁護士 渋谷和洋
千代田区六番町3番地1協和ビル6階

建設業Q&A

Q. 特定建設業の許可が必要な場合はどのような場合ですか？

A. 発注者から直接請け負った（元請として請け負った）1件の建設工事につき、下請業者との下請け契約の合計（複数の下請業と下請契約を締結する場合は、その合計が4,000万円以上、建築一式工事は6,000万円以上）となる下請契約を締結して施工する場合は、特定建設業の許可が必要になります。

（森）

ピーマン

「ピーマン」にはレモンに匹敵するほどのビタミンCが含まれています。ビタミンCはメラニン色素を分解する働きがあるので、夏の日焼け対策に十分摂りたい栄養です。ストレス対策にもなります。また、ビタミンPも含まれており、毛細血管の壁を丈夫にしてくれるので、高血圧、動脈硬化などの病気の予防にもなります。夏バテ気味で食欲が出なくなったり、ますます元気がなくなってしまう。食欲増進には香辛料も効果があります。ショウガ・わさび・シソ・ミョウガ・ネギや暑い国で大人気のカレーを上手に使用しましょう。

（森）